



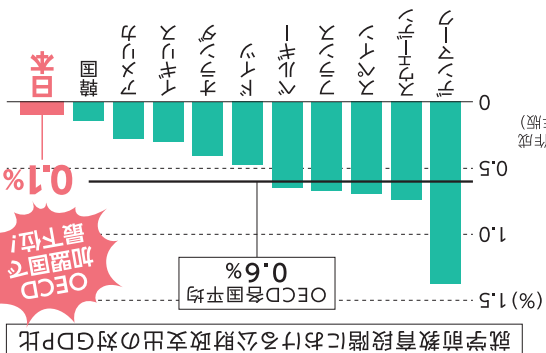
署名にご協力
ください。

いま、必要なことは、子どものための予算を重点的に投入し、国と自治体の責任による保育施策を拡充することです。乳児保育や夜間・延長保育、障害児保育や処遇改善などは、それらを求める国民の声があったからこそ制度化されてきたのです。
署名を通して私たちの声を届け、よりよい保育を実現しましょう。

主権者は私たち！
みんなの声が、
保育を改善してきた！

予算を増やし、保育料を引き下げよう！

文部科学省「我が国の教育行財政」より作成
OECD「図表でみる教育」(2014年版)



日本の保育・幼児教育に関する公費の支出は先進国で最低のレベルです。私費負担の割合が多いのも特徴です。

104,000円	3歳未満児
101,000円	3歳以上児

国基準最高額(保育標準時間認定・月額)
保育料は自治体ごとに決められていますが、元になる国が定める保育料の基準が高すぎます。国基準を引き下げ、保護者負担を軽減しましょう。

保育料が高すぎる！ 保育・幼児教育に関わる公的支出が少なすぎる！



保育は、
いまとみらいを
支えている。

ほいくしを、もっと。ほいくしょを、もっと。



ほいく、もっとプロジェクト

このプロジェクトは、子どものいまと未来を支える大切な保育を、もっとよくしていくための署名運動を中心にしたとりくみです。

よりよい保育を！ 実行委員会

連絡先：全国保育団体連絡会

〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 TEL03-6265-3171